

貸出キットについて

1. 貸出キットの内容

昭和館の常設展示室の内容をコンパクトにしたセットです。

実物資料、解説や写真のパネルで戦中・戦後の人々の暮らしを伝える内容です。

※体験展示を目的としたものではありませんので、資料に直接触れることはしないようにご指導ください。

2. 貸出キットの利用

展示期間

展示期間は、原則7日間以内とさせていただきます。

貸出費用

借用料は無料です。ただし往復の運送費は、借受人がご負担下さい。

営利目的の貸し出しはおこなっておりません。

貸出中の責任

貸出期間中における資料の運搬及び保管については、借受人が責任を持っておこない、汚損・破損・紛失などしないようご注意ください。

夜間は、施錠し、紛失等にご注意ください。

資料等に問題が発生した場合には、直ちに昭和館学芸部へ連絡をとり、職員の指示に従うようにしてください。

借受人が特記事項に違反したときには、承認を取り消すことがあります。その際に生じた諸経費について当館はその責任を負いません。

申請書・報告書

申請書に記載した目的以外には使用しないでください。別の目的で使用するときはあらためて申請書を提出してください。

事業が終了したときは、実施報告書を必ず提出してください。

その他、不明な点については、昭和館の担当者に相談してください。

3. 申し込みから返却までの流れ

- ① 貸出希望日の一ヶ月前までに、利用状況を電話でお問い合わせください。
- ② 予約には申請書と企画書が必要になります。申請書はHPからダウンロードしていただくか、FAXでお送りします。貸出物と貸出期間、展示期間などを決め、ご記入いただいた借用申請書をFAXしていただき仮予約となります。重なった場合には、予約順とさせていただきます。
- ③ FAXされた書類に問題がなければ連絡しますので、代表者印を押したうえ、昭和館まで原本を郵送してください。
- ④ 貸出期間になりましたら、キットを郵送します。同封されている貸出承認書を必ずお受け取りください。
- ⑤ 展示終了後は借用期間内にご返送ください。実施報告書はキットのなかに入れてお送りいた

だくか、別途ご送付ください。

申込先・問い合わせ先：

〒102-0074

東京都千代田区九段南1-6-1

昭和館学芸部 TEL 03-3222-2577

FAX 03-3222-2575

<映像のみの貸し出しの問い合わせ先>

昭和館 映像・音響室 03-3222-2574

【貸出キット（大）】

- ・教室程度の広さの展示用
- ・送料が高め（片道 12,100～24,600 円程度、実費負担）
※金額は地域により異なります

1号 A : 59cm×84cm×32cm B : 59cm×84cm×32cm
C : 60cm×85cm×37 cm D : 60cm×85cm×35 cm
バッグ : 58cm×85cm×5cm

2号 A : 59cm×84cm×28cm B : 60cm×84cm×24cm
C : 59cm×84cm×32 cm D : 60cm×84cm×27 cm
バッグ : 58cm×85cm×5cm



(奥行×幅×高さ)

① グラフィックパネル (B2サイズ×3 1枚)

解説テーマ

家族の別れ、出征、統制下の暮らし、代用品、配給、戦中の学校、学童疎開、銃後の備えと空襲、銃後を護る組織と制度、空襲、昭和20年8月15日、廃墟からの出発、戦後の食料事情、戦後の住宅事情、闇市、混乱期の生活、遺された家族、全国戦争未亡人数、子どもたちの戦後など

図解・写真など

兵員数の推移、学徒勤労働員数の推移、学童疎開先の分布、空襲被害地図など

② 実物資料

〔戦中〕

臨時召集令状・はがき・代用品（陶製品）・衣料切符・債券・通信票・学徒動員時の腕章・疎開先で描いた絵・防火用砂袋・警防団員手帳・時局防衛必携・軍隊手牒・鉄かぶと・防空頭巾・防毒面・慰問袋・千人針・婦人会たすき・名札・伝単・婦人雑誌など

〔戦後〕

引揚証明書・ジュラルミン製品・ランドセル・赤本マンガ・カストリ雑誌・墨塗り教科書・筆箱・ジープなど

③ オーラルヒストリー（総集編）

【貸出キット（小）】

- ・コンパクトな展示用
- ・送料が安め（片道 2,400～5,300 円程度、実費負担）
※金額は地域により異なります

3号：53cm×77cm×44cm

4号：44cm×69cm×50cm

5号：53cm×77cm×44cm

（奥行き×幅×高さ）



貸出キット 4号



貸出キット 3・5

① グラフィックパネル（A2サイズ×23枚）

解説テーマ

家族の別れ、昭和10年頃の家、統制下の暮らし、戦中の学童・生徒、銃後の備えと空襲、昭和20年8月15日、廃墟からの出発、遺された家族、子どもたちの戦後、復興に向けてなど

図解・写真など

兵員数の推移、学徒勤労動員数の推移、空襲被害地図など

② 実物資料

〔戦中〕

臨時召集令状・はがき・代用品（陶製品）・衣料切符・債券・通信票・疎開先で描いた絵・防火用砂袋・警防団員手帳・時局防衛必携・軍隊手牒・警防団員手帳・防空頭巾・防毒面・慰問袋・千人針・婦人会たすき・名札・伝単・少年雑誌など

〔戦後〕

引揚証明書・ジュラルミン製品・ランドセル・赤本マンガ・カストリ雑誌・墨塗り教科書など

③ オーラルヒストリー（総集編）

【昔の道具パネル】

- ・小学3・4年生の「昔の道具とくらし」学習向け
- ・専用ケースに入れて貸し出し
- ・貸出キット（小）に同梱することも可能
- ・送料は片道 1,600~3,000 円程度（実費負担）※金額は地域により異なります

1. パネルの内容

①「昔の道具のうつりかわり」パネル A 2サイズ×2枚

※2枚を合わせて一つの表となります。



② 道具の解説パネル A 2サイズ×4枚


- 「せんたく」 1枚
- 「食事」 2枚
- 「情報を伝えるもの」 1枚



③ 道具クイズカード A 5サイズ×11枚


上記①②で紹介されている道具についての短い文章を読んで、何の道具かを考えるクイズカードです。（裏面に答えがあります。）

布を張りつけるときは、ゆがまないように、布の目をそろえながら、板のはしと布のはしが平行になるように張るのよ。




(「ポプラディア情報誌」のくらし、ポプラ社)

一枚の板の表と裏を両方使って、日なたに置くとすぐに乾きました。そして、乾いたら下から持ち上げてピーツとはがします。この作業も子どもがよく手伝ったものでした。



(「思い出芳華録 昭和の暮らしと今 エスシーシー」)

●●●はね、長い間使っていると「たが」がずれる。すると、水がもれちゃって使い物にならなくなる。●●●が使えなくなると、●●●を買った「おけ屋さん」に持って行って、直してもらおう。直すのも商売なんだよ。



●●●には、ひらがなが入ります。
(「くらべてみよう! 昭和のくらし」生活 学芸研究社)

④ グラフィックパネル A2×23枚

解説テーマ

家族の別れ、昭和10年頃の家庭、統制下の暮らし、戦中の学童・生徒、銃後の備えと空襲、昭和20年8月15日、廃墟からの出発、遺された家族、子どもたちの戦後、復興に向けてなど

図解・写真など

兵員数の推移、学徒勤労動員数の推移、空襲被害地図など

※ 貸出キット（小）のグラフィックパネルと同じ内容のものです。